



昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第767号
令和元年7月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州

No.
767
2019 8月号



CONTENTS

- 県社協情報局 2
- みんなで取り組む地域共生・信州 3
- 福祉保険サービス広告 6
- おらほの縁パワー活動!・おらほの資金確保術! 7
- よっ!新風人・ざわめくアート 8





ひきこもり等に対する調査 及び これからの支援について

長野県は、今年2月から4月にかけて市町村と共同により「ひきこもり等に関する調査」を実施し、その結果を公表しました。この調査では、県内の民生委員・児童委員5,040人に、各担当地区において把握しているひきこもり等に該当する者に関するアンケートを行い、その数と状況が明らかになりました。

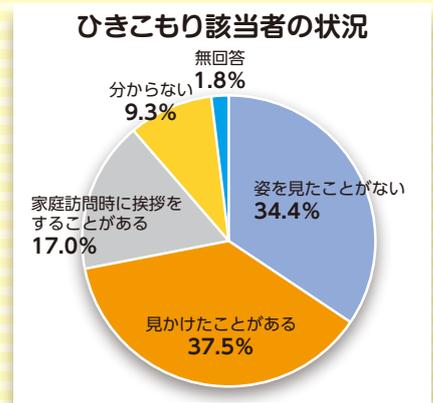
	該当者数	15歳以上64歳以下の人口	出現率
長野県	2,290人	1,147,585人	0.20%
参 考	19市		0.16%
	58町村		0.36%

○2千人余りがひきこもり状態

調査結果によると、県内でひきこもりに該当する者の総数は2,290人で人口当たりの該当者の割合（出現率）は0.20%でした。

性別は、男性が72.9%、女性が21.8%で、わからないとの回答も5.3%ありました。年代別では、多い順に40歳代が28.5%、50歳代が22.9%、30歳代が21.1%で、把握された者の63.1%が40歳以上の中高年層です。

該当者の状況では「見かけたことがある」が37.5%であった一方で、「姿を見たことがない」状況も34.4%の割合となっています。ひきこもり等の状態にある期間については、「10年未満」までの割合が51.8%である一方、「10年以上」が40.1%となり、長期のひきこもりとなっている状況がうかがえます。



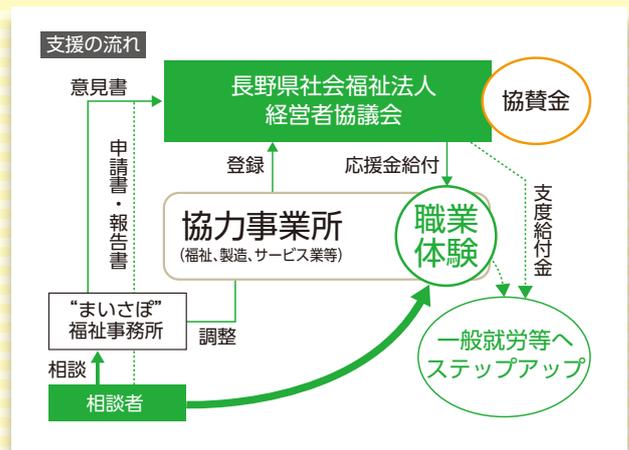
○関係部局が連携した包括的な支援

長野県は、ひきこもり状態から生じる様々な不安など、悩みを抱える本人や家族が安心してSOSを発し、相談することができるように、まいさぼなどの相談機関の活用について積極的にPRしていくとしています。また、地域での支え合いや家庭支援を強化するため、関係部局が連携して包括的な支援を進め、当事者や家族を孤立させないように取り組むこととしています。

○プチバイト事業など社会資源の有効利用、開発

各まいさぼでは、これまで離職後家に閉じこもる方や一度も就労経験がない方などの相談に応じてきており、就労や社会参加のきっかけとして「信州あんしんセーフティネット」のプチバイト事業を積極的に利用しています。これは、県内の社会福祉法人経営者協議会に加入する法人が協賛金を拠出して、まいさぼの支援プランに基づき民間企業や公的機関などで職場体験をした方に就職応援金を給付する任意事業で、ひきこもりの方への支援としても有効な社会資源となっています。

昨年度は70件の利用があり、今年度も7月10日現在で24件の利用があります。具体的には次のような事例もあり、職場体験を通じた社会参加の一步として今後もその利用に期待が持たれます。



【大学中退後ひきこもり状態の20代の男性】

父親と二人暮らしをしていたが、父親が失踪し生活に困ってまいさぼにつながった。大学中退後は就労経験がなく社会経験も乏しいことから、社会に踏み出す一步としてプチバイト事業の利用をまいさぼから提案。地元企業の受入れ協力をいただき、本人は、社会との関わり、コミュニケーションの大切さ、就労イメージを持つことができ、その後一般就労につながった。

ひきこもりを個人の問題ではなく社会の問題としてとらえ、その支援にあたっては地域における既存資源の活用や資源開発が重要になります。今後は、ひきこもり状態にある方、その家族が集える居場所づくりや家族会の設置、ひきこもりサポーターの養成などの取組みを官民が協働して推進していく必要があります。

「ふくしニア」から始めましょう!

～みんなで取り組む 福祉の仕事イメージアッププロジェクト～

子ども人口が減る中で、今、産学の連携によるキャリア教育や職場体験が活発化していますが、これらの体験メニューに、福祉・介護分野が含まれていないことが少なくありません。今年度、県社協では上田千曲高等学校と協力して、「ふくしニア」＝福祉の仕事イメージアッププロジェクトを推進しています。豊かで楽しい福祉のお仕事体験を、子どもたちに各地で提供していくために、福祉関係者の協働を進めましょう。

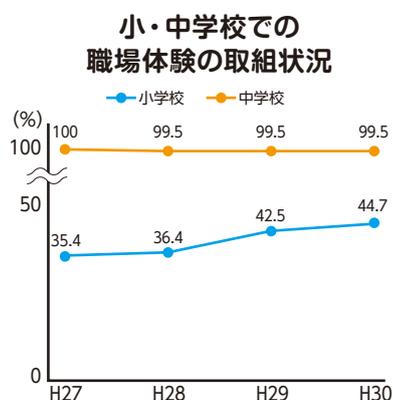


今小学生の「職場体験」が増えています

長野県は、産学官の機関・団体と連携して、学校におけるキャリア教育の推進を図っています。

中学校での職場体験は、ほぼ100%実施されており、小学校においても年々増加しています。

また、市町村、商工団体、青年会議所等、様々な分野の連携により「お仕事体験」事業やイベントが広がっています。



若者の介護離れが深刻に

現在、介護福祉士養成校の志願者が減少するなど、「若者たちの介護離れが深刻化している」と言われます。

市町村社会福祉協議会においても学校における福祉教育に取り組んで取り

組んでいます。近年増えつつある商工団体等が主催の「お仕事体験」事業やイベントには関わっておらず、福祉・介護コーナーが設置されていないことも少なくありません。



飯田青年会議所等が主催する「お仕事キッズタウン2018」から昨年で7回目。毎年1,000人以上の子どもたちが参加する体験イベント。

推奨企画「ふくしニア」から始めましょう

そこで、県社協では、今年度小・中学生向けの福祉の仕事体験プログラムとして、上田千曲高等学校生活福祉科の学生たちが始めた「ふくしニア」を推奨企画とし、同校や、福祉・看護等の職能団体の皆さんと協力して県内各地に取り組みの輪を広げるキャンペーンを展開しています。

子どもたちに豊かで楽しい福祉のお仕事体験を提供する「ふくしニア」を、ぜひあなたの地域でも開催してください。

始めましょう!

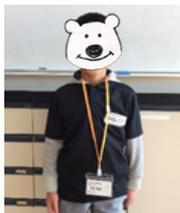


3 楽しみ方、楽しませ方のポイント



ポイント①

各体験ではユニフォームに着替える



介護スタッフ



介護スタッフ

ユニ
フォームで
気合いアップ!



ポイント②

体験後「ケア」という通貨がもらえる



働いた
対価として
給料が発生



「ケア」で
お買い物!



ポイント③

保護者も楽しめる

- 子どもの写真をとる
- 専門職の仕事を知る
- 子どもの体験のモデルになる など

体験の
記念撮影と
修了証授与



ふくしニア〔1回20分程〕

<仕事体験>

各職種1体験 20 分間程のプログラム。

- ①最初にユニフォームを選んでもらい着替える。
- ②専門職の方から仕事の説明を聞く。
- ③体験1
- ④体験2
- ⑤「ケア」を渡す
- ⑥記念撮影

<買い物>

ケアを使って買い物をする。

<感想の記入>

小学生、保護者、専門職の方に当日の感想を記入していただく

<修了証（ケアマイスター）授与>

1名ずつケアマイスターを授与する。

4 「ふくしニア」セット好評貸出中

地域ごとに福祉関係者が協力して「ふくしニア」から始めましょう!

- 社会福祉法人
- 福祉・介護事業所
- 社会福祉協議会
- 介護福祉士養成校
- 介護、看護等職能団体 など

連催

イメージアッププロジェクトを推進

長野県福祉人材センターの支援

○ユニフォーム(各種)



介護スタッフ風



医療スタッフ風

お問い合わせは

県社協
福祉人材グループ
☎026-226-7330

○教材(各6セット)

- ・赤ちゃん人形、哺乳瓶等一式
- ・血圧測定器 など

○講師派遣・運営支援

- ご褒美セット
- のぼり旗 など

福祉教育のススメ



福祉教育のススメ

学校や地域での福祉教育の取組の歴史をふまえて、改めて福祉教育の重要性を整理したリーフレットです。ぜひご活用ください。

- 長野県社協まちづくりボランティアセンター
☎026-226-1882

パラスポーツを体験しよう



長野県ではパラスポーツの一つであるポッチャを広めるため、用具の無料貸出を行っています。ぜひ、ご活用ください。

- 長野県障がい者支援課 パラスポーツ担当 ☎026-235-7108

福祉のお仕事 イメージアップ

「ふくしニア」から

1 「ふくしニア」とは

上田千曲高等学校生活福祉科の学生たちが始めた、福祉の仕事体験イベントです。
福祉を学ぶ学生たちが、その学びをさらに小さな子どもたちへと伝えていく事で、福祉に明るい未来を運び込む、イメージアッププロジェクトです！

「ふくしニア」= ふくし + near (ニア・近い)

福祉を学ぶ学生たちが、小学生や中学生にふくしの仕事について興味を持ち、ふくしの魅力に近づいてほしいとの願いを込めて名付けました。

それぞれの良さがありません！

小・中学生

学生 + 専門職バージョン

専門職バージョン

2 体験できるお仕事の内容

まだまだたくさんの体験がありますのでご相談ください！

保育士体験



子どもの感想
ユニフォームを着られて嬉しかった。保育園の先生かっこいい。



オムツ交換、だっこの仕方



介護福祉士体験



子どもの感想
ベッドへの移動がとても楽しかったです。



車いすの操作方法



ベッドからストレッチャーへの移乗

看護師体験



ミルクをあげてあげぶを出させます。

専門職の感想
高校生が子どもたちに福祉を教えることの意義は福祉への意識の向上であり素晴らしい取り組みだと思います。



点滴の滴下体験



バイタルチェック

学生の感想
私たちが学んだことをたくさんの方に知ってもらい介護の分野に興味を持ってもらいたい。

専門職の感想
高校生の事前学習がしっかりされていて、声掛けなどポイントをおさえて教えていた。

介護福祉士体験



スライディングシートで車イスへの移乗

子どもの感想
体験ができておもしろかった。車いす介助のお仕事をやってみたいと思った。

保護者の感想
実家で祖母の介護をしていた時に、このスライディングシートがあればホントに良かったのに...



目の見えない人への食事介助

専門職の感想
介護の仕事体験を通して、この仕事の楽しさを体感して欲しいです。

写真：ふくしニア in ハビスポ広場 2019 から
(協力：上田千曲高等学校 生活福祉科 NPO 法人 happy spot Club 他)

写真：ふくしニア in 信州環境フェアから (協力：長野県介護福祉士会 他)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK18-13568 2019.1.16 作成)

平成31年度

社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶ 保険金額		基本補償(A型)		見舞費用付補償(B型)	
賠償事故	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用			死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円	

保険期間1年

▶ 年額保険料(掛金)

定員		基本補償(A型)
補償基本(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用(B型)		基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円



です。 割安な保険料 充実した補償と スケールメリットを活かした

プラン2 施設利用者の補償

プラン3 施設職員の補償 改定

プラン4 社会福祉法人役員等の補償

◆クレーム対応サポート補償(プラン1-①オプション4) 改定

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJK18-12811 2018.12.28 作成)



地域に根付く学生を育てたい!

学校から、地域とつながり 社協とつながる

学生たちは自分の住んでいる地域でも、よく知らない場所に行くことには抵抗があり、初めての取り組みをするには勇気がいります。そんな学生をバックアップできるよう、学校や社協、様々な立場の人がつながるきっかけをつくっている先生がいます。

今回は、中野立志館高等学校福祉科の中嶋貴章先生にどのような思いで授業をされているか、お話を伺いました。



授業については、福祉の基礎はしっかりと押さえつつ、専門的な難しい内容は簡単な説明ができるくらいの理解ができるようにしています。福祉の仕事に就かずとも、普段の生活等で少しでも福祉に関わってれば福祉の人材と言えると考えており、技術者を育てたいわけではありません。資格や仕事に生きる勉強よりも、まずは福祉がどういうものか知り、ちょっとしたきっかけから地域に関わる人になってほしいと思います。

また、普段から地域を見る・知ることができるよう、外部の方をお呼びし、実際に働いている人目線のお話を聞く機会をつくるようにしています。学校としても生徒としても、日頃から様々な機関や人とつながることで、何かしたいときに頼り、頼られる関係性を築くことができ、地域に出やすくなります。



生徒がサマーチャレンジボランティアに参加する際には、生徒が中野市だけでなく地元でも活動ができるよう近隣の市町村社協に相談をし、合同での説明会を開催していただけるようになりました。生徒と地元社協がつながることで、若い力が地域に根付くきっかけにもなります。このようなつながりを活かした取り組みを今後も続けていきたいです。

中嶋先生は学生たちの「〇〇をしてみたい」「ちょっと〇〇に興味を持った」という自発的な思いを大切にしています。学生に地域福祉活動へ参加して欲しいという声は様々な地域で聞かれます。もしかしたら、学生のちょっとした思いを聞き取ることができれば、地域と学生がつながっていくのかもしれない。



クラウドファンディング活用事例紹介

—うちやまコミュニティ農園(佐久市)—

「暮らしの中に農を」をコンセプトに、佐久市で「うちやまコミュニティ農園」をスタートしようと、クラウドファンディング「CAMPFIRE」を利用し、今年4月23日から5月31日の期間で68人が協力、544,850円を集めました。

主催は5年前にUターンし佐久市内でコワーキングスペースiitoco!!(イトコ)を経営する江原政文さんと、6年前にUターンし「つながり自然農園」を営む磯村聡さんです。

「好きなことを実現したかった」と江原さん。iitoco!!開業時には県の地域発元気づくり支援金を利用。既存の働き方や生き方にとらわれない人たちが集まってきました。その後、中込駅周辺に「シェアハウス柏屋旅館」やスペース「ながる場所TELT(テルト)」などができ、点から面へと佐久市で新しいコミュニティが広がります。

出会った人たちと今度は農園づくりに踏み切ったのです。会員を募り、食の安全や技術の習得、心地よい居場所を柱としました。「余白を大事にしたい」と江原さんは「押し付けでなく協創」を念頭に、活動を通しみんなで佐久の魅力をも100年先へと継承していきたいとのこと。

今回の資金調達には「購入型のクラウドファンディング」です。会員権やイベント参加費、関係施設の利用権を購入する形としました。「購入者自身も関わり楽しめること」も成功のポイントです。

また江原さんは「獲得した資金の振込時期なども考え利用を」と話していました。



6/8年後のオープニングパーティは佐久の山々や農園をバックに(奥右が江原さん、左が磯村さん)



6/8年前中には会員が集まって、大豆の種まきをしました



うちやまコミュニティ農園 (Facebook)



クラウドファンディング 「CAMPFIRE」

よっ! 新風人

毎号福祉の分野に新しい
風を吹き込む方をご紹介します。

上田千曲高等学校
生活福祉科主任
等々力守先生



webでも
ご覧になります

「生徒さんにインタビュー」
「看護師体験担当」前日から準備し本番に体験者が来てくれるのか不安でしたが、予想以上に来てくれて嬉しかったです。バイタルの説明が難しく事前に絵を描き伝えやすく工夫しました。
【理学療法士体験担当】松葉杖の操作方法を伝えることが難しく専門職の方に助けてもらいながら実施しました。授業で理学療法士の実習が

高校生の自ら考え、行動することが福祉の明るい未来へとつながっていくのだと感じました。詳細はQRコードからご覧いただけます。

【等々力先生】福祉を学ぶ高校生の取り組みが評価されることはとても嬉しく思います。福祉に関わる人や機関が協力し合って取り組むひとつのきっかけになるとよいです。

【最後に】
「等々力先生」福祉を学ぶ高校生の取り組みが評価されることはとても嬉しく思います。福祉に関わる人や機関が協力し合って取り組むひとつのきっかけになるとよいです。

福祉を学ぶ高校生が企画運営する福祉の仕事体験プログラム「ふくしニア」。6月23日に行われたハピスポひろば2019で「ふくしニア」実施中の上田千曲高等学校の等々力守先生と生活福祉科の生徒さんにお聞きしました。



日々成長する生徒の姿を見て感じるのが毎日の活力です。



スモックを着て保育士になりきりオムツ交換。みんな赤ちゃんは大好きです。



安全に一步一步慎重に。どう伝えるか高校生自身の学びにもなります。



体験後はもらった専用通貨(ケア)のお給料でお買い物を楽しみます。

ないので私達にとっても良い経験です。
【作業療法士体験担当】ただストラップを作るのではなく、手先の運動として行っていることがわかるよう声をかけました。
【保育士体験担当】子どもの成長を見守りながら自分も成長できることが保育士の魅力。今日の体験で興味を持つてもらえたら嬉しいです。
【介護福祉士体験担当】少しずつ自分なりに福祉に興味を持ってもらえるよう伝えられたと思います。子供の頃から介護の仕事を知ってもらえるようにふくしニアを通して僕達が広がってきたいです。

●ご感想、お問合せ、
掲載希望等は下記へ
お寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail kikaku@nsyakyo.or.jp

webでもご覧になります

長野県
社会福祉協議会

福祉・
介護べり帖



長野県福祉研修
実施団体
きやりあねっと

信州福祉・
介護のひろば



ざわめくアート

『無題』

水彩絵の具

作者:伊藤 雄三(いとう ゆうぞう) 39歳
上田市在住

作者を支援している人から不思議な、少し不気味な猫の絵を見せてもらった。背景には何色かの絵の具を塗り重ねて下地としてある、深い青の世界だ。そしてこちらを向いている猫の表情は決してかわいいわけではない。むしろ何かに対して怒っているのかもしれない。

作者はままならない自分の心に翻弄され、これまで苦勞を重ねてきている。わずかに赤い線が入れてあったり、背景の色は単に青ばかりではなくピンク系の色も塗ってあるようだ。深い絵だ。絵を描き続けることで、作者の心が少しでも癒されていくことを祈りたい。

(ながのアートミーティング 取材)